

教師用指導書

指導事例と資料

中学校学習指導要領準拠

中学生用

税金と社会のかかわり

～21世紀をささえる君たちへ～

令和5年度版



沖縄県立開邦中・高校(写真提供:沖縄県)

目次

- P1 …… 指導者の方へ
- P2 …… ●わたしたちと税金のかかわりについて
一緒に考え、調べていきましょう
●税金の区分や種類
- P3 …… ●財政の役割
●国の財政
- P4 …… ●沖縄県の財政 ●市町村の財政
●これからの社会と税
- P5 …… ●納税の義務
●コラム
- P6 …… ●社会保障の給付と負担の関係
- P7 P8 …… 指導資料
- P9 P10 …… ●税の区分や種類 ●国の財政
●地方の財政 ●これからの社会と税
●税の国際比較

沖縄県租税教育推進協議会

この租税教育用教材『税金と社会のかかわり』は、中学校3年生の社会科公民的分野の単元である「(2) 国民の生活と政府の役割」を学習する際に、租税の意義を知り、将来の納税者としての意識を高めることに役立てていただけるよう、生徒向けに編集したものです。

この冊子を通して、

- わたしたちの生活は、租税を通して財政と深く結びついていること
- 財政と租税は不可分の関係にあり、租税は国民生活の向上を実現するために必要不可欠な要素であること

を理解してもらうことができれば幸いです。

【中学校学習指導要領との関係】

文部科学省『中学校学習指導要領』では、公民的分野の内容「B 私たちと経済」の「(2) 国民の生活と政府の役割」において、次のような内容の記載があります。

B 私たちと経済

(2) 国民の生活と政府の役割

対立と合意, 効率と公正, 分業と交換, 希少性などに着目して, 課題を追究したり解決したりする活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 社会資本の整備, 公害の防止など環境の保全, 少子高齢社会における社会保障の充実・安定化, 消費者の保護について, それらの意義を理解すること。

(イ) 財政及び租税の意義, 国民の納税の義務について理解すること。

イ 国民の生活と福祉の向上を図ることに向けて, 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。

(ア) 市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して, 国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現すること。

(イ) 財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し, 表現すること。

このような趣旨を踏まえ、この冊子では、生徒用冊子の活用を促進するために「指導事例」や「指導資料」を掲載しました。

(注) 本冊子中、各構成項目の計数は、単位未満四捨五入のため、合計と一致しない場合があります。令和4年度の予算関係は、すべて当初予算に基づいています。

わたしちと税金のかかわりについて一緒に考え、調べていきましょう

■ねらい

「公共サービス」や「公共施設」（いわゆる「公的サービス」）を利用するのになぜ利用料がかからないのか（利用料という形で個々の利用者から徴収しないか）を、ゴミ収集・警察・消防などを例に理解させ、これらの「公的サービス」が「税」で賄われていることを理解させる。

■学習内容

具体的に身近な財政支出の例を挙げて、多くのコストがかかっていることを理解させる。

■公的サービスと政府の役割

日々の生活では、様々な財やサービスが消費されている。これらの中には副教材で例示したもののように、市場（民間）の動きに委ねておいては、十分に提供されないものがあり、それらは政府が「公共サービス」として提供している。外交、防衛や警察、消防、司法などは、誰もがその負担の有無にかかわらず便益を受け、ある人が便益を受けても他の便益を妨げないという性格から、市場から全く提供されない可能性がある。また、生活や産業を支える基盤となる水道や道路などの社会資本、次代を担う人材を育成するための教育、安心できる生活を確保するための社会保障などは、市場のみに委ねた場合には必ずしも必要な量や水準が確保されないおそれがある。

■公共施設

公立学校や公園、道路など、誰もが利用できる施設。

■公共施設の数

	令和3年4月現在
警察署	1,149
交番	6,253
駐在所	6,185
消防本部	724
消防署	1,718
消防出張所	3,099

■公共サービス

ゴミの収集や処理、警察や消防など、生活に欠くことができないもので、民間の経済活動では生み出せないサービス。

わたしちと税金のかかわりについて一緒に考え、調べていきましょう

わたしちが健康で文化的に生活していくために、国や都道府県、市町村はさまざまな活動を行っています。そして、その活動に必要な費用は、税金によってまかわれています。わたしちの暮らしには、諸般税をはじめ所得税や住民税など、いろいろな税金がかかっています。それらの税金には、どのような種類があるのか、誰が、どんな方法で、どこに納めているのか。また、納められた税金は、わたしたちの暮らしにどのようにかかわっているのか。こうした税金に関するさまざまなことを一緒に考え、調べていきましょう。そして、税金の果たしている役割を正しく理解しましょう。

災害復旧のために
▲災害発生時に、自然災害による様々な被害の復旧を行っています。
写真提供：茨城県ホームページ

社会保障のために
▲国民が医療を受けるときに費用を軽減しています。
写真提供：筑波大学医学部附属病院

開発途上国のために
▲海外への物資援助をしています。
写真提供：JICA

住民の安全を守るために
▲わたしたちの安全を守ります。
写真提供：沖縄県警察

快適な暮らしのために
▲ゴミの収集をしています。
※期：南風グリーンセンター

まちづくりのために
▲道路の建設や整備をしています。
※期：コリアライズ機

税金は、社会共通の費用をまかなうためにみんなで出し合う会費のようなものです。

（注）本冊子中、各構成項目の計数は、単位未満四捨五入のため、合計と一致しない場合があります。令和4年度の予算関係は、すべて当初予算に基づいています。

生命・財産を守り平和で安全な暮らしを確保するための公的サービスは、なくてはならないものである。これらは、およそ国というものが形成されるようになって以来、その基本的な役割とされてきた。水道や道路といった社会資本は、便利で快適な生活を送ったり、産業を進展させ経済的に豊かな社会を築いたりするために、また、自然環境を守ったり災害を防いだりするために、重要な役割を果たすものである。さらに、教育によって子どもたちが社会生活に必要な能力を取得していくこと、社会保障によって、貧しい人を社会全体で支えたり、病気、障がい、老齢などに伴う生活上の不安を取り除いたりすることなどを通じて、より安定した社会を築いていくことが可能となる。

税金の区分や種類

■ねらい

税についての学習を始めるに当たって、身近な「税」を自由に発表させることにより、まず税に興味を持たせる。

■学習内容

税の種類や仕組み、その特徴にも触れながら「税」が私たちの生活にどのように関わっているのかを理解させ、なぜ、いろいろな税があるのかを考えさせる。

■税の分類方法

- 「どこに納めるか」による分類
→国税・地方税
- 「何に対して課税するか」による分類
→所得課税・消費課税・資産課税
- 「納め方」による分類
→直接税・間接税

■消費税

10%の消費税のうち
→7.8%は国へ
→2.2%は都道府県へ

■消費税の歴史

- 1988年 消費税法成立
- 1989年 消費税法施行 税率3%
- 1997年 税率5%に引き上げ
- 2004年 「税制」表示から「総額表示」義務付け
- 2014年 税率8%に引き上げ
- 2019年 税率10%に引き上げ(軽減税率8%導入)

税金の区分や種類

●税金の区分や種類はどのように分けるか？
私たちが納める税金は、「誰が納めるか」、「どこに納めるか」などによって、例えば、次のような区分や種類があります。

国税 国が納税義務を負う人（個人または法人）が納める税金です。

地方税 都道府県が納税義務を負う人（個人または法人）が納める税金です。

国税の種類
 ●所得課税 (所得税、住民税)
 ●消費課税 (消費税、酒税、たばこ税)
 ●資産課税 (相続税、贈与税、固定資産税、自動車税、船舶税)

地方税の種類
 ●所得課税 (住民税)
 ●消費課税 (酒税、たばこ税)
 ●資産課税 (固定資産税、自動車税、船舶税)

税金の種類や納税の方法は人によって異なります。

個人で納める税金
 所得税 (所得税、住民税)
 消費税 (消費税、酒税、たばこ税)
 資産税 (相続税、贈与税、固定資産税、自動車税、船舶税)

法人で納める税金
 法人税
 所得税 (法人住民税)
 消費税 (消費税、酒税、たばこ税)
 資産税 (固定資産税、自動車税、船舶税)

（注）酒税と市町村民税は、一般に住民税と呼ばれています。

財政の役割

■ねらい

財政の役割について、理解させる。

■学習内容

- 「税」は公共サービスの対価であること。
- 国や地方は「公共サービス」を提供するための費用を「税」という形で調達していること。
- 「公共サービス」を受けるのに1円も支払っていないので無料のようだが、みんなで負担した税で「公共サービス」が提供されていること。

■財政の役割

私たちの生活に必要であっても、利潤を追い求める民間の経済活動では生み出せないサービスや施設を提供する。

■財政の機能

財政の役割は多方面にわたり複雑になってきているが、これを国民経済的な機能という観点から整理すると、「資源配分機能」（公共サービスや社会資本を提供する）、「所得再分配機能」（所得の開きを縮める）、「景気調整機能」（景気の動きを整える）の3つに大別できる。

財政の役割

●財政ってなんだろう？ 財政の代表的な役割とは？

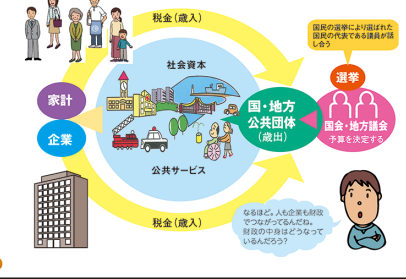
財政とは国や地方公共団体の経済活動のことです。財政に必要なお金の大部分は、税金と集められています。わたしたちが納める税金は、公共サービスの提供や社会資本の整備といったために、生活のさまざまな場面で使われています。特に、わたしたちの生活に必要なであっても、利潤を追い求める民間の経済活動ではカバーしにくいサービスや施設を提供することは、財政の重要な機能です。

たとえば公共サービスには、警察や消防、家庭から出るゴミの回収や処理などがあります。また、社会資本には道路や橋、公園などがあります。このように、わたしたちの健康で文化的な生活をおくることのできるように、税金は使われています。公共サービスを充実させているため、財政の役割は、これからますます重要になっていくと考えられます。

●そのほかの財政の役割

- 所得の再分配機能
日本の所得税などは、所得が多くなるほど税率が高くなる累進課税制度がとられています。また、社会保険（病気や怪我等）など個人のためだけではカバーしきれないリスクに対して社会全体で助け合い、支えようとする（仕組み）等の歳出を通じて、所得や資産の再分配を図る役割があります。
- 景気の動きを整える
会社や個人の所得が伸びる好景気のときには、税負担が増え、景気の過熱にブレーキをかけます。また、不景気のときには、税負担が減って、景気の落ち込みをゆるめます。また、歳出側では、政府の出費をふやすなどして景気をよくなることもできます。

●財政の働き



国の財政

■ねらい

国の歳入・歳出の内訳がどうなっているのかを学び、税がどのように使われているかを理解させる。また、公債金（国の借金）が年々増加している。自分の家に置き換えてみれば、毎年借金が増えるということは好ましくないことだと、理解させる。

■税金と公債金

国の収入の約61%が「税金」、約34%が「公債金」。

「公債金」とは国の借金のことで、元本の返済や利子の支払いなどの負担を、将来の世代に残すことになる。

■国の歳出

国の支出の約7割を、社会保障関係費・国債費（借金の返済と利子の支払い）・地方交付税交付金等で占める。

■一般会計における歳出・歳入の状況

歳出が歳入（税金）を上回る状況（財政赤字）が続いており、借金である公債の発行によって賄われている。

■教育費の行政機関別負担割合（令和4年4月現在）

- (注) 1 小・中学校の教育費の負担割合
2 実験器具等購入に際して国の補助を受けるためには一定の要件が必要。
3 負担割合の数値は財務省主計局からのデータ提供による。

国の財政

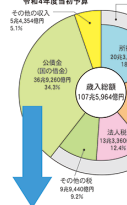
●国の収入（歳入）の内訳はどうなっていますか？

令和4年度の収入総額は約107兆5,964億円です。この内訳を足すと「税（国税・県税）+つり金（繰入金）+公債発行収入」の約60.6%となります。

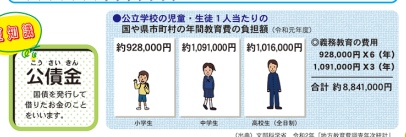
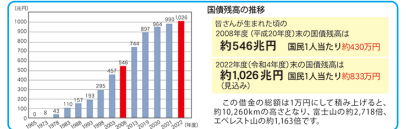
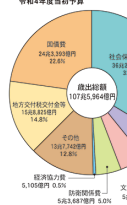
収入はすべて税金でまかなわれるのが理想ですが、さまざまな公共サービスや社会資本（公債）を完済するためには、税金だけではまかないきれない状況となっています。

そこで、国債（国債）を発行し、これを国債や国債償還などに充てることで、「公債金」つまり借金をして集めたお金の返済に充てています。この公債金は、収入の約34.3%を占めています。

●国の一般会計歳入内訳



●国の一般会計歳出内訳



	負担割合	
	国	地方
先生の給料	1	2
教科書	1	0
実験器具等購入	1	1